

水害（雨や川の力で家が壊れた）にあった人へ

～家を片づける前に読みましょう～

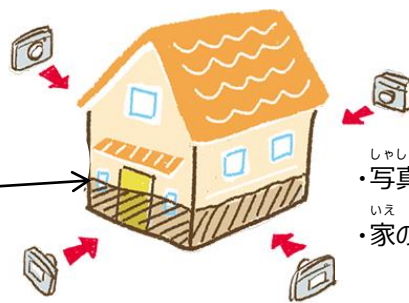
1. 家や車の写真を撮ります

壊れたところを写真に撮りましょう

家の外（車、庭、家など）、家の中（車、冷蔵庫、テレビ、家具）など、壊れた物や使えなくなった所を全部写真に撮ります。

家のどの高さまで水がきたかわかる写真を撮ります。

写真はお金や罹災証明書（※）をもらうときに使います。とても大切 です。



写真を撮る時、たくさん撮ります。家の中も撮ります。

※罹災証明書（家が壊れた人のための書類です）

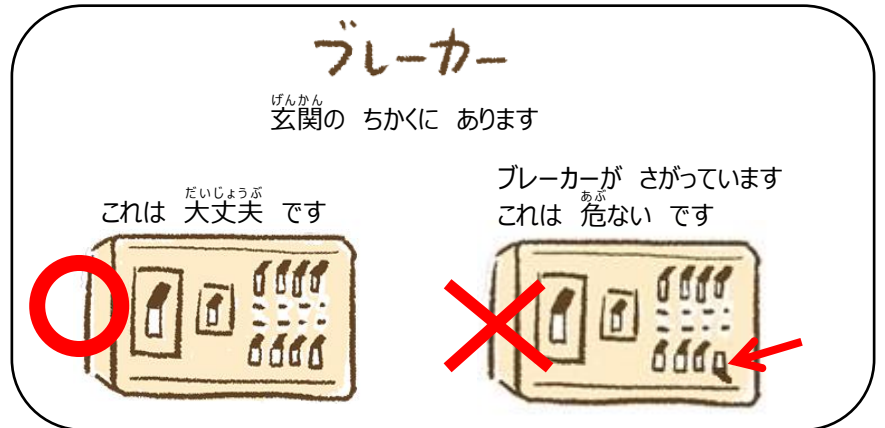
家がどれだけ壊れたのかを書く紙です。家が壊れた人がお金を借りるときにいらいます。それから税金や公共料金（電気・ガス・水道などのお金）が安くなる場合があります。仮設住宅（家に住めなくなった人のために、市役所などが建てる家）に入れる場合があります。このようなサービスに申し込む時に罹災証明書がいらいます。

- ① 市役所に 行きます。
 - ② 家が壊れたことを紙に書きます。
 - ③ 市役所の人がどのくらい壊れたか調べます。
 - ④ 市役所の人が罹災証明書を作ります。
- 罹災証明書をもらうのに時間がかかります。早めに市役所に行きましょう。

2. 片づける 前に 見ましょう

でんき 電気

電気のブレーカー(電気の機械)をとめまします。ブレーカーのレバーがさがっているときは触りません。危ないです。電気の会社に電話をします。



がす ガス

ガスの匂いがするときは、ガスの会社に電話をします。

●都市ガス

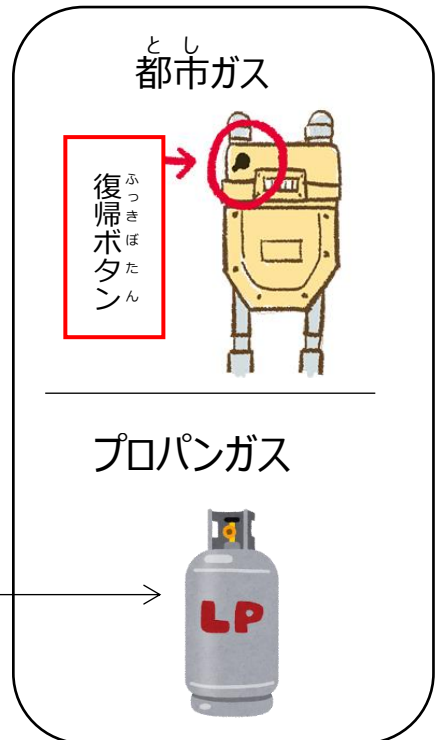
都市ガスは災害があるとガスが止まります。ガスを使うときは電話をしなければいけません。電話をしないでガスを使ってはだめです。

- ① ガスの会社に使えるかどうか電話をします。
- ② 使えるときは、ガスメーターの復帰ボタンを押します。ガスが使えます。

●プロパンガス

プロパンガスの家はガスボンベは外にあります。

- ① ガスボンベがいつもと同じところにあるか見ます。
- ② 動いていたら危ないです。ガスの会社に使えるかどうか電話をします。



ほけんがいしゃ 保険会社 など への 連絡

●自分の家がある人

家の保険に入っている人は保険会社に電話をします。家を直すお金をもらえるかもしれません。

●アパートの人

大家さん(家を貸してくれている人)に電話をします。必ず家の外と家の中の写真を撮ります。

3. 片づける 時に 注意しましょう

ケガに 気を つけます

ながくつ ごむてぶくろ ますく
長靴や ゴム手袋、マスクを します。うがいや 手洗いを しま
す。ねっちゅうしやう にならないように 水の 飲みます。



ながくつ
長靴



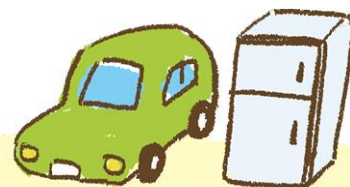
ごむ てぶくろ
ゴムの手袋



ますく
マスク

ゴミの 出し方が 変わります

おおあめ たくさんの ゴミがあります。たくさんの ゴミが あるので いつもの 場所に
ゴミを 出しません。しやくしよ ちか ひと ゴミを 出す 場所や
じかん き
時間を 聞きます。



くるま おお ごみ
車や 大きな ゴミ

災害ボランティアが 手伝います

かそく 家族だけで 片づける のは 大変 です。さいがいぼらんていあ 家族を
てつだ ひとたち てつだ てつだ てほし ひと
手伝う 人達) が 手伝います。手伝ってほしい 人は
さいがいぼらんていあせんたー しやくしよきしやうぎかい しやくしよ
災害ボランティアセンター、社会福祉協議会、市役所
に 聞きます。お金 は ありません。無料 (0円) です。



さいがいぼらんていあ てつだ
災害ボランティア が 手伝います

ちゅうい
注意してください

ものを 盗む 人や 詐欺をする人 (だます人/嘘を 言う 人) が います。

SNSには うそ まちが こと い ひと ほんとう こと たし
嘘や 間違った 事を 言う 人が います。本当の 事が 確かめてください。
へん おも だれ はなし
変と 思ったら、誰かに 話してください。

在留カードや パスポートを なくしたら 電話を してください。

ざいりゅうか ーど ばすぽーと でんわ
在留カードや パスポートを なくしたら 大使館や 入国管理局に 電話します。